

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和6年2月26日

事業所名 えびす夙川

保護者等数(児童数) 48 回収数 25 割合 52.1%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	25					広さの確保はできていますが、スペースの活用面で、プログラムの切り替え時に待機している参加者のスペースや保護者が待機を必要とする際のスペースなどの工夫を行ってまいります。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	23	2			・手厚くて大変安心できる	「どちらともいえない」の2名の声を踏まえ、専門性について、今後も採用や研修において重視し、研鑽の機会を重ね、保護者に安心していただけるように努めてまいります。またその取り組みを少しでも発信できるように努めます。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	9	13	3		・階段に代わるスロープの存在を知らないの で。	玄関前の階段が最も大きなバリアとなっており、自力で階段を安全に昇降できる方以外の参加にバリアがある。改修が難しい環境であることから、介助などのサポートで可能な場合はそのようにサポートを実施します。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	24	1				「どちらともいえない」の1名の声を踏まえ、客観的に分析、という点について、5領域を網羅する標準化されたアセスメントツールを導入するなどして改善を続けます。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	23	2			・知識豊富な先生方が、毎回様々な角度から子どもたちのコミュニケーションスキルを改善させるきっかけ、気づきの種がうまれるエビス講座をつくられていた印象です	まず第1に保護者が安心して通所を判断いただき、そのうえで、本人が「えびすに行きたい」「行ってもいい」と思え選択できるプログラムを引き続き開発、実施してまいります。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	11	13		・特に必要を感じておりません。 ・うちのこは、参加したことがないのでわかりません	この点については、これまで機会をつくっておりませんでした。本人や家族の心情を踏まえて、有益だと判断できる機会については積極的に企画実施します。
保護者への	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	23	1	1			契約時の説明だけでなく、利用者負担の不明点については、問い合わせしやすい機会が必要だと考えられます。また支援内容については、詳細を報告することが良いと捉えていただいている方とわかりづらいと感じている方もいらっしゃるかと推測されます。対面の機会等でより丁寧な説明が必要であると考えられます。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解ができているか	24	1			・今日の取り組みを先生があげてくださり、こちらにも必要な時はメッセージを送れる仕組みを作ってください。何か伝えるとすぐに返事が返ってくるのでありがたいです。	送迎でいらっしゃる保護者に対しては、プログラムの概要を報告します。加えて、当日中に保護者に対して、詳細の報告を更新し、コメントを受けられるようにしています。なかなか労力が大きく継続に課題が多い仕組みなのですが、持続可能な形式に変化させながら本人の適切な理解を保護者と共有できる機会を継続してつくりたいと考えています。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	22	3			・いつもしっかりと時間を取ってお話を聞いて頂いている	定期的な面談に加えて、必要に応じて、相談を受け、もしくはこちらから提案しています。利用者数が多く、相談担当者の予定が過密であることから、立ち話やついでの際にちよつとした話、ができていないと捉えています。今以上に「隙」をつくれるようにし、送迎時の隙間やちよつとした文章のやりとりなどを通してでも必要な支援が可能にできる体制となるように努めます。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	13	8	4			これまで不定期で開催していた保護者会については2023年度は実施できませんでした。保護者同士の連携については、送迎時に保護者同士の会話があるクラスもあり、そのような機会も貴重なこととして見守っていきたくと考えています。

説明等	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	19	6		<ul style="list-style-type: none"> ・苦情はないです。 ・満足しています。 ・そのような経験がないので。 	苦情までいかずとも、ご意見をいただいたり、ちょっとした改善点について、これまでなかなか発信ができておりませんでした。以前実施していた通信のようにまとめて、もしくはは随時更新できる周知できる機能を活用します。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	24	1			なかなかタイミングが合わせづらい事業所と保護者のコミュニケーションを進めるために、誤解なく事務的に進めるべき内容については、基本的にメッセージを活用しています。加えて、問答が必要であるような内容はしっかり電話や面談の予定をし、時間を確保するようにしています。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	20	4	1		これまで、運営システムを共通のプラットフォームにしていたが、機能に限界があり、こちらの情報発信が全員に届けることができていない点があったと捉えています。今後も同システムを基本としますが、機能改善を進め、保護者にとって受け取りやすい情報発信に努めます。また、子ども本人に説明という点については、クラスのプログラム中には十分に実施しているが、運営全般については今後に説明するかについては今後検討が必要であると考えています。
	14	個人情報に十分注意しているか	24	1		<ul style="list-style-type: none"> ・写真を掲載する場合は確認してください。 ・ありがとうございます 	細心の注意を払い、活動報告等で写真を活用する場合、他児の相談員など外部の方が支援の機会に参加する場合は、必ず事前に保護者を通して同意を得るように努めています。
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	19	6		<ul style="list-style-type: none"> ・緊急対応時の説明は受けたと思いますが、防犯時については覚えていません。すみません。 	利用契約時に説明をしていますが、コメントの通り、防犯と感染症については、ご説明ができていませんでした。速やかに周知説明できるように公開いたします。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	16	8	1		訓練の実施はプログラム中に実施しているが、その内容や保護者の期待する内容には合わないもしくは十分に説明ができていないことが今回自覚できました。訓練の内容については、あまり更新できていないことから、あらためて内部で改善してご説明してまいります。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	24	1		<ul style="list-style-type: none"> ・エビスの先生を信頼しており、話を聞いてほしい、アドバイスがほしいと思ってる様子です。私たちも、息子が煮詰まって辛そうとき、エビスの先生に話してみたら、と声をかけて、少し距離をとって考える機会をもらっています。 	この点を一番大切にしており、保護者からの評価もおおむね高く、ありがたいことだと捉えています。引き続きこの点を重視しながら保護者の安心や期待にも応えられるように努めてまいります。
	18	事業所の支援に満足しているか	22	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・学校帰りに利用できないところ ・フィードバックをもっと個人的に詳しくしてほしい。 ・いつもありがとうございます 	今回半数弱の方からの回答が得られていない点についても改善すべき点だと捉えています。加えて、具体的にコメント受けている、都合に合わせた参加機会の設定、フィードバック内容の改善については、上記の通り、具体的に改善しご説明できるようにいたします。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。